

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和7年4月23日14時00分
近畿地方整備局
滋賀国道事務所

国道8号 野洲 栗東 バイパスの開通時期について ～ E1 名神高速道路栗東 IC への円滑なアクセスが可能に ～

○国道8号野洲栗東バイパスについて、令和7年秋全線開通が遅延する旨をお知らせしていましたが、(主)守山栗東線(栗東市出庭)からE1名神高速道路の栗東IC(第二)(栗東市手原)の区間(延長約 1.9km)については、早期に事業効果を発現すべく令和8年度に部分開通する予定です。

○残る区間について、アスベストの処理は、全面調査から撤去まで3年程度の時間を要して概ね完了したところですが、その影響を受ける関係機関との調整を引き続き進める必要があるため、工事工程の精査を継続します。

○引き続き、早期の開通に向け、工事を推進してまいります。

■開通時期について

- 栗東市出庭～栗東市手原 (延長 1.9km) : **令和8年度開通予定**
- 野洲市小篠原～栗東市出庭 (延長 2.8km) : **工程精査中(継続)**

■管内の状況、雨量状況について

- 道路情報提供システム <https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/pc/>
- 滋賀国道事務所 X (旧 Twitter) https://twitter.com/mlit_shiga
- 滋賀国道事務所 HP <https://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/>

<取扱い> ——

<配布場所> 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 滋賀県政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 滋賀国道事務所
副所長(改築担当) 西本 一郎(にしもと いちろう)
事業対策官 中村 佳正(なかむら よしまさ)
電話 077-523-1741 (代表)

国道8号 やす りっとう 野洲栗東バイパスの事業概要

国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、京都市をつなぐ幹線道路であり、沿道地域の産業・経済を支える重要な路線です。

野洲栗東バイパスは、国道8号の野洲市から栗東市間の交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的として、昭和57年度に事業化した延長4.7kmの道路です。

○事業の概要

区間	(起) 滋賀県野洲市小篠原 (終) 滋賀県栗東市手原
道路延長	4.7km
道路規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線

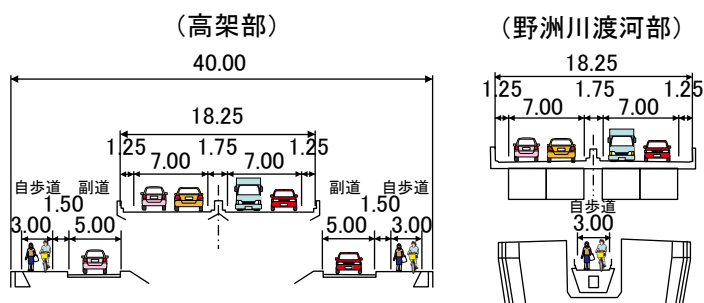
○主な事業の経緯

昭和57年度	事業化
平成12年度	都市計画決定
平成25年度	用地取得着手
平成28年度	工事着手

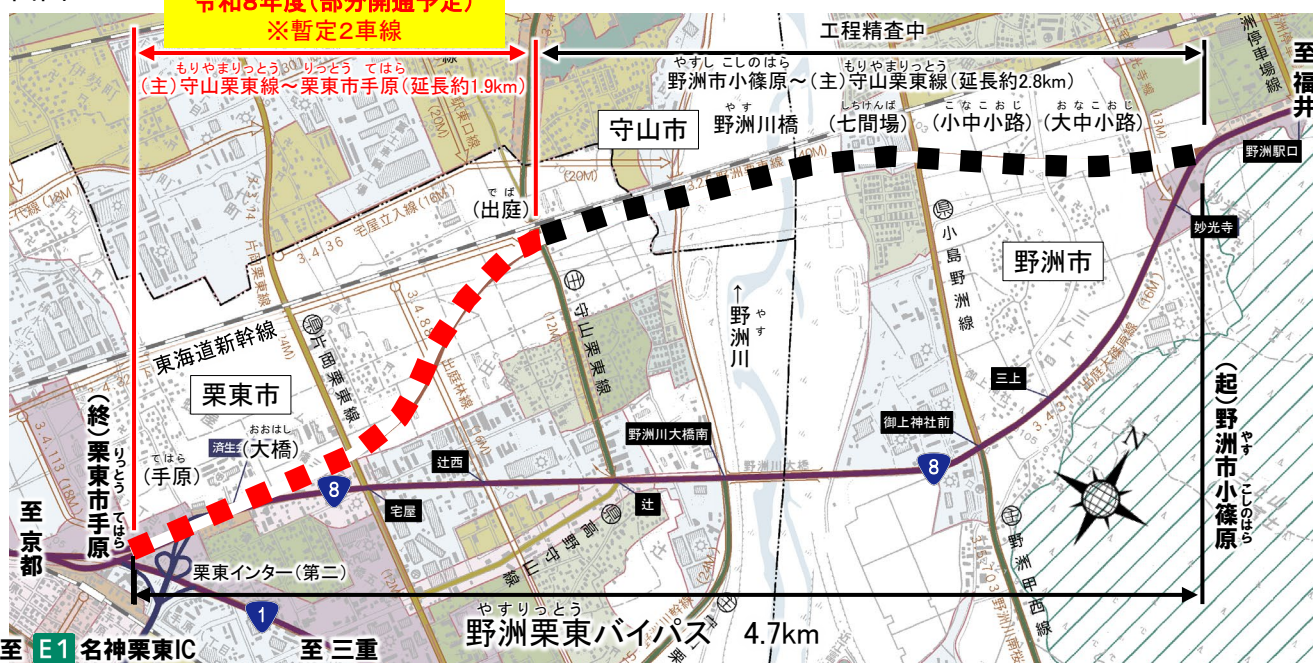
○位置図



○標準断面図 (単位: m)



○平面図



※現在、国道8号から名神高速道路 栗東ICに直接アクセスはできませんが、今回の部分開通により、国道8号(野洲栗東バイパス)からのアクセスが可能となります。

やすりっとう 国道8号 野洲栗東バイパス 現在の現場状況

○平面図

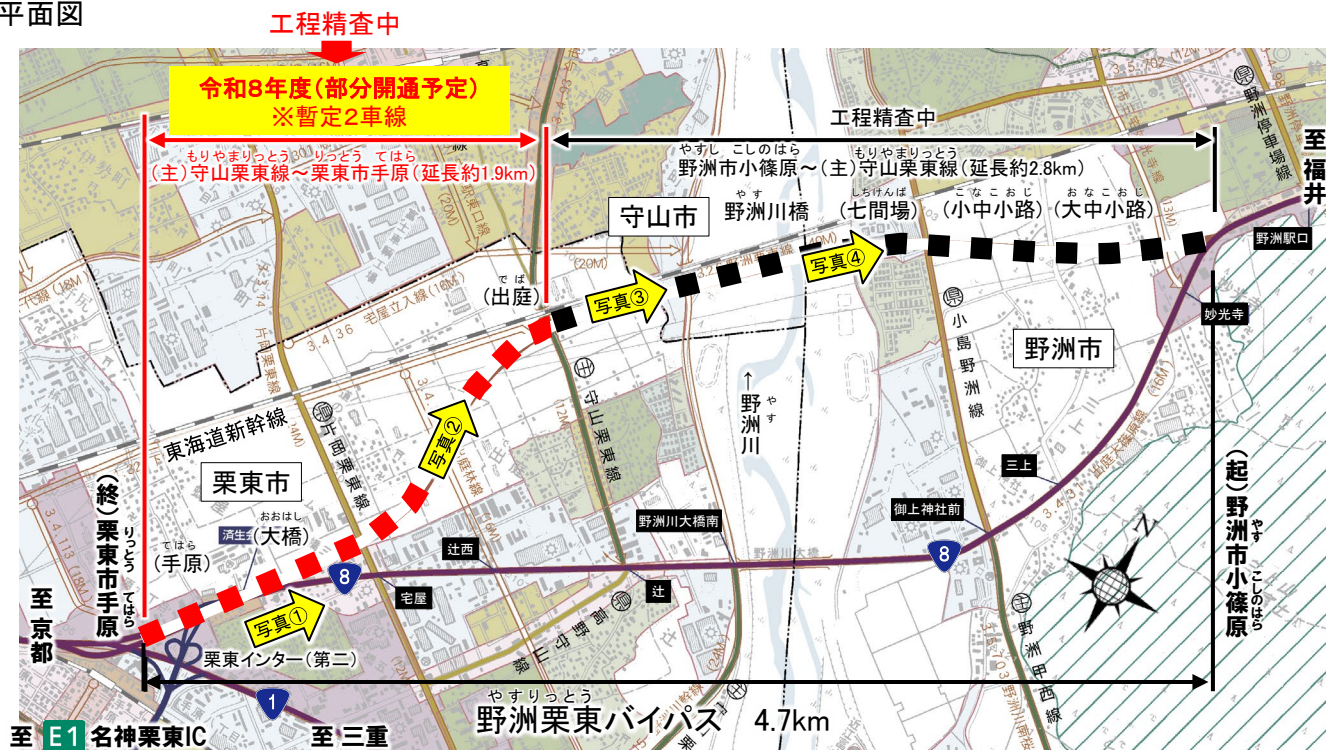


写真: 令和7年3月撮影



写真: 令和7年3月撮影



写真: 令和7年3月撮影



写真: 令和7年3月撮影

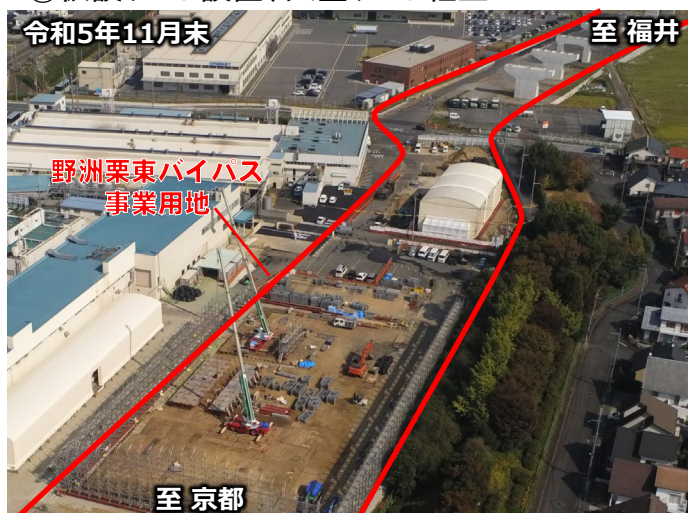
やすりっとう 国道8号 野洲栗東バイパス アスベスト撤去状況

撮影位置 : 野洲市七間場

①工場建物撤去完了、コンクリート版撤去開始
令和5年6月末



②仮設テント設置、大型テント組立
令和5年11月末



③大型テント内掘削・仮置き場運搬、事業地外搬出

令和6年3月末



④テント内掘削完了、大型テント解体、事業地外搬出

令和6年7月末



⑤事業地外搬出、仮置き場テントの順次解体

令和6年11月末



⑥アスベスト(22,400m3)撤去完了、用地基面整正

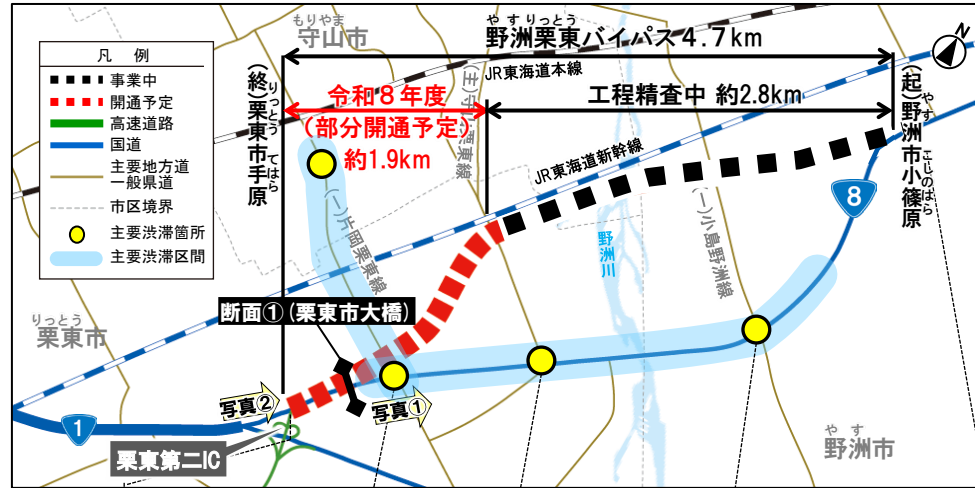
令和7年3月末



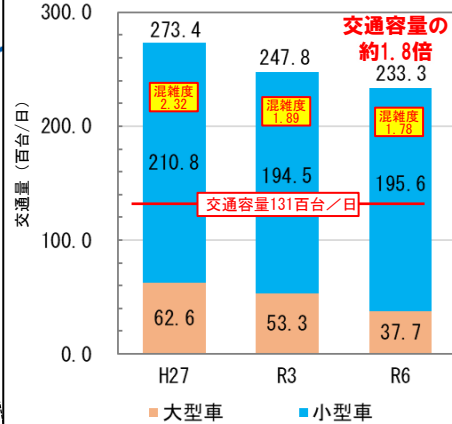
部分開通により期待される効果(交通混雑の緩和)

- 国道8号の交通量は交通容量の約1.8倍となっており、慢性的な渋滞が発生しています。
- 野洲栗東バイパスの整備により、交通の分散が図られ渋滞の緩和による所要時間の短縮や定時性の確保が期待されます。

■ 国道8号の混雑状況

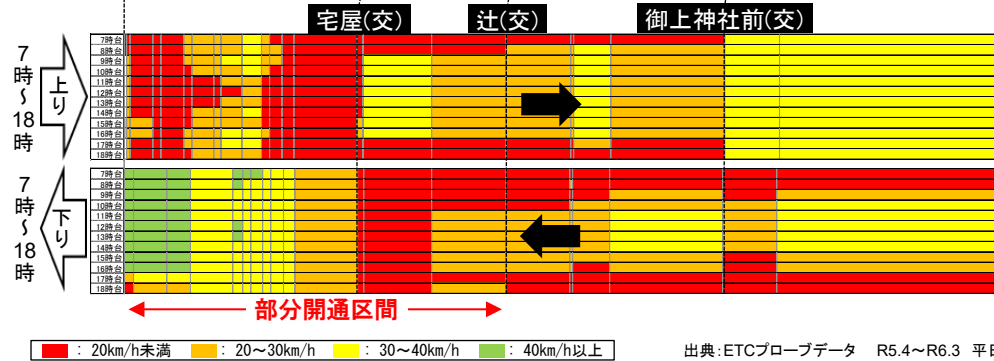


■ 国道8号の現況交通量 (断面①)



出典: 全国道路・街路情勢調査 (H27~R3)
滋賀国道事務所調べ (R6.9.25)
※交通容量: 令和3年全国道路・街路情勢調査から算出

■ 国道8号の旅行速度

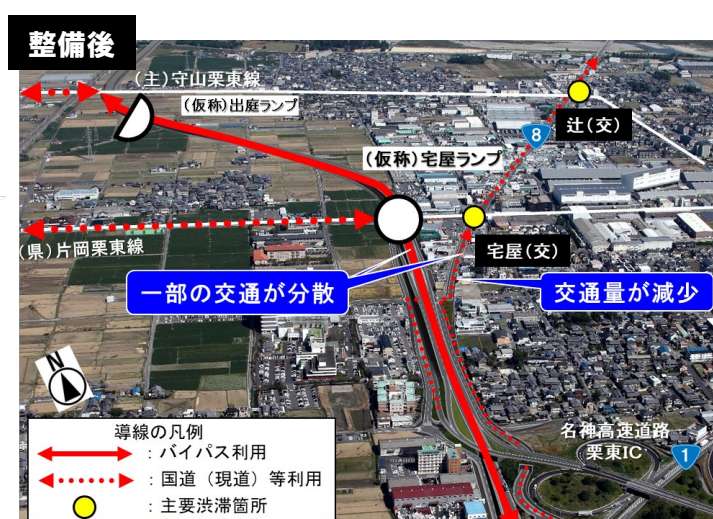


写真①



令和6年11月6日撮影

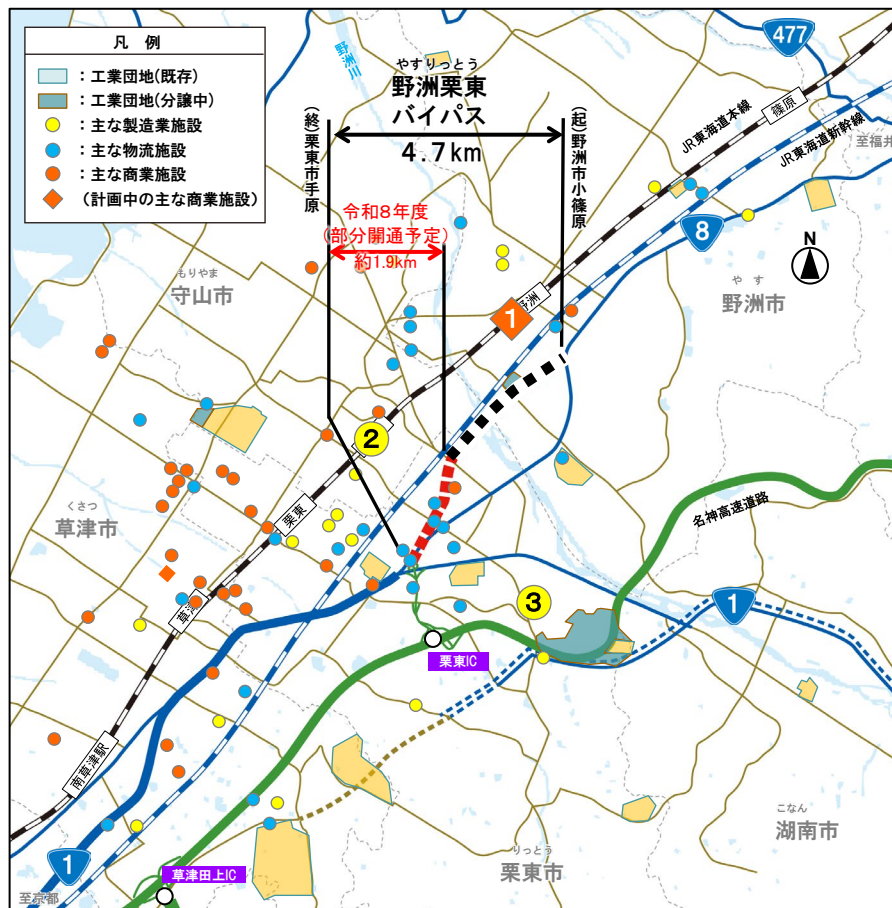
■ 部分開通後の交通状況変化 (写真②)



開通により期待される効果(地域活性化の支援)

- 国道8号の沿線地域は製造・物流・商業施設が多く立地し、野洲駅南口では再開発が計画されるなど、活気あふれる地域です。
- 野洲栗東バイパスの整備により、道路の速達性や定時性が向上し、地域経済の更なる発展への寄与が期待されます。

■周辺の立地状況



出典：滋賀県産業用地のしおり（工業団地、製造業）、一般社団法人日本倉庫協会（物流施設）、大規模小売店舗立地法滋賀県の届出状況 H19以降（商業施設）

■沿線地域（3市）の主な拠点施設

① 野洲駅南口の開発計画（野洲市）



※開発計画の内容が見直される可能性がある

② 周辺の主な製造企業（守山市）

日本を代表する電源機器メーカー



③ 周辺の主な製造企業（栗東市）

日本を代表する総合化学メーカー



■企業の声



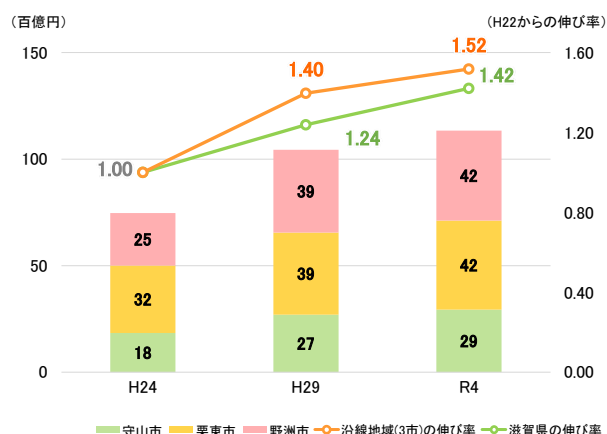
周辺の製造企業

国道8号の渋滞のため、渋滞する時間も見込んだ配送計画を立てるなどの対応しており、非効率な輸送を行っています。

野洲栗東バイパスの開通によって、国道8号の渋滞が緩和されれば、輸送時間の短縮、定時性の向上により、製品の安定供給が可能となり生産性向上にもつながるため、大変期待しています。

出典：R6.8 滋賀国道事務所にアライン調査

■沿線地域（3市）の製造品出荷額の推移



沿線地域(3市): 野洲市、栗東市、守山市

出典: H24・H29 滋賀県統計、R4 経済構造実態調査